

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	10	事業名	創業塾、講習会等の近隣商工会との共同開催による受講機会の提供			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	原田 武史	総轄者名	安田 幸博	施策コード	4	施策名	近隣商工会との広域連携事業の実施		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会の限られた経営資源を最大限に活用し、各種事業を効率的・効果的に実施するために、同一事業の共同実施や共通の地域課題に対する取り組みの連携など、地域を越えた商工会間の広域連携強化の必要性に迫られている。

2. 事業のねらい

組織として蓄積した支援ノウハウを共有して有効に活用することで、個社支援に集中できる環境を整備するとともに、支援レベルの平準化を図り、事業者に対し質の高い支援を提供する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	C	R1	B	R2	B
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

- ・共通の事業者ニーズに対応する講習会を開催した。
- ・各地域が抱える課題が異なることから、連携の可能性について協議検討を重ねる必要がある。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

近隣商工会では独自の経営発達支援計画のもとで事業を実施しているため、経営課題解決につながる情報を相互に共有・参画する体制を構築した。また、今年度は創業ゼミを広域的に実施し、創業者に関する情報の共有を行った。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
事業者が抱える課題解決のため、多様なテーマを設けた講習会を近隣商工会で開催している。開催情報を周知・連携することで事業者ニーズに対応するための受講機会を提供した。	近隣商工会で実施した講習会等を広域的に周知し連携することで多様な課題解決のための受講機会を提供することができた。併せて連携開催することで業務の効率化、コスト、時間等の削減が実現された。	a

項目	広域参画事業の実施					項目						項目							
	年度	H29	H30	R1	R2		R3	年度	H29	H30	R1		R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2
目標	4	4	5	3	3	目標						目標							
実績	2	2	2	4	6	実績						実績							
達成率	50%	50%	40%	133%	200%	達成率						達成率							
達成度	c	c	c	a	a	達成度						達成度							

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性	現状の課題に	a(対応している)	b(一部対応している)	c(対応していない)	a
------------------------	--------	-----------	-------------	------------	---

〈評価の理由〉

- ・多様化する経営課題に対応するため各地域のニーズを把握した多様な支援策を講じる必要がある。
- ・事業者が抱える経営課題は個社、地域においてそれぞれ異なり、ニーズに対応した多様な講習会開催が求められている。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況	事業内容・評価指標の実績の達成度が	a(すべてa判定の場合)	b(a,c以外の場合)	c(いずれかがc判定の場合)	a
--------------------	-------------------	--------------	-------------	----------------	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

地域課題をテーマとした講習会を開催し、近隣商工会へも広く周知し、相互参加することにより多様なニーズに対応するための受講機会を提供することができた。

【効率性の観点】 事業目標の達成状況	【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が	a(すべてa判定の場合)	b(a,c以外の場合)	c(c判定6割以上の場合)	a
--------------------	-------------------------------------	--------------	-------------	---------------	---

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

近隣商工会において開催される講習会に相互に参加することにより、講習会開催にかかるコスト、時間を削減するとともに、多様なテーマによる講習会を開催した。

2. 総合評価・理由	A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合	B(概ね順調)A、C以外の場合	C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	A
------------	---------------------------	-----------------	-------------------------------	---

- ・地域課題をテーマとした講習会を開催するにあたり、広域的に受講できるよう広く周知することで受講機会の提供に取組んだ。
- ・創業ゼミ開催については広域的周知を図り、創業者に関する情報の共有を行った。

3. 課題

近隣商工会と連携した経営課題解決につながる事業の実施

4. 今後の対応方針(改善点)

近隣商工会では独自の経営発達支援計画のもとで事業を実施しており、相互に情報を共有・事業参画することで経営課題解決のための連携を強化する。